

# あいさんキッズ 自己評価表

記入者: 高岡 由香

平成30年度

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10名定員の空間は満たしているが、活動内容に応じて室内環境の工夫を行って活動をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子専用リフト付車両にて送迎対応館内エレベーター有り。バリアフリー化に配慮。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	○			ご家族宛の「評価表」を実施。ご家族からの意見を集約し、改善工夫を踏まえ開示をします。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月例の職員会議にて研修会を実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用児童のニーズに合わせた個別、集団療育プログラム、集団活動では月間プログラムを設定。療育のねらいを共有し計画を作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々な体験ができるプログラムの設定に努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別課題、個別療育活動は行い、継続した作業、社会体験活動、月間活動等、児童が利用時に行う課題が実践できるよう組み立てをしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担当者会議、懇談等での意見を反映し計画書を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に業務、支援内容を確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、申し送り事項の確認をし、申し送りノートに記入と共に、翌日、再確認を行っています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			タブレットにて記録、連絡帳作成、年間通して個人記録が確認できるようになっています。	

